



2021年11月26日

各 位

会社名 萩原工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 浅野和志  
 (コード番号: 7856 東証第一部)  
 問合せ先 取締役執行役員事業支援部門長  
 吉田淳一  
 (TEL. 086-440-0860)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年12月7日に公表した業績予想（連結及び個別）を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2021年10月期通期連結業績予想数値の修正（2020年11月1日～2021年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 28,000	百万円 2,640	百万円 2,740	百万円 1,850	円 銭 127.84
今回修正予想 (B)	27,700	2,250	2,370	1,620	111.95
増減額 (B - A)	△300	△390	△370	△230	
増減率 (%)	△1.1	△14.8	△13.5	△12.4	
(ご参考) 前期実績 (2020年10月期)	27,231	2,515	2,840	1,891	130.75

(2) 2021年10月期通期個別業績予想数値の修正（2020年11月1日～2021年10月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,600	百万円 2,285	百万円 1,510	円 銭 104.34
今回修正予想 (B)	21,020	2,090	1,510	104.34
増減額 (B - A)	△2,580	△195	0	
増減率 (%)	△10.9	△8.5	0.0	
(ご参考) 前期実績 (2020年10月期)	20,511	2,442	1,734	119.90

## 2. 修正の理由

昨年から続く世界的な新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、最適な生産体制を検討してまいりましたが、実際には海外子会社の稼働への影響は軽微でした。その結果、国内生産シフトを行わなかったため、個別の売上高が前回発表予想を下回る見込みとなりましたが、連結売上高については前回発表予想に近い水準の達成を見込んでおります。一方で、海上運賃の歴史的な高騰に加え、原材料費の高騰及び円安進行に伴う輸入製商品の利益率低下も収益圧迫要因となりました。またシート類の需要減や新型コロナウイルス対策費用の発生により子会社の損益も悪化しました。それに対して、製品価格への転嫁に努めるとともに、各種経費節減を進めましたが、コスト増加を賄うに至らず、通期の業績を上記のとおり修正するものであります。

上記の予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上